

2022年

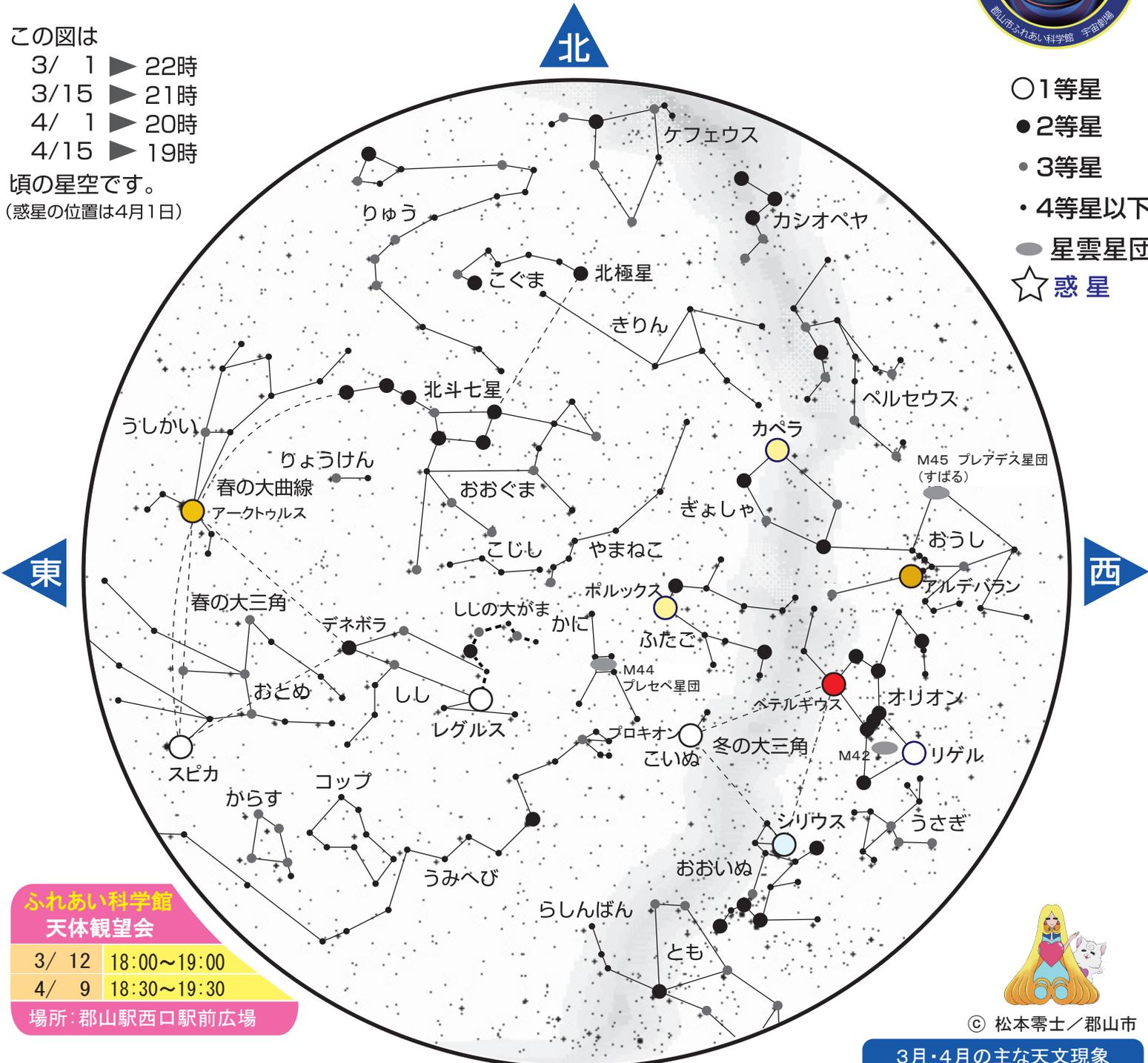
3月▶4月の星空



この図は
 3/ 1 ▶ 22時
 3/15 ▶ 21時
 4/ 1 ▶ 20時
 4/15 ▶ 19時

頃の星空です。
 (惑星の位置は4月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆惑星



ふれあい科学館
 天体観望会

3/ 12 18:00~19:00
 4/ 9 18:30~19:30

場所: 郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

郡山の日の出・日の入		
3/ 1	6:10	17:32
3/15	5:50	17:46
4/ 1	5:25	18:01
4/15	5:04	18:14

月の満ち欠け		
新月	3/ 3, 4/ 1	
上弦	3/10, 4/ 9	
満月	3/18, 4/17	
下弦	3/25, 4/23	

※上弦、下弦は半月です。

3月・4月の主な天文現象	
3/20	金星西方最大離角
3/21	春分
4/23	4月こと座流星群極大
4/29	水星東方最大離角

この時季の宵空には、西に冬の星座、東に春の星座が姿を見せています。その星座をたどっていくと、冬から春へ季節の移り変わりを感じることができます。では三角形を描き、季節の星座を探してみましょ。南西の空でつくる「冬の三角」では、オリオン座、おおいぬ座、こいぬ座を見つけることができます。東の空の「春の大三角」では、うしかい座、おとめ座、しし座を見つけることができます。このように分かりやすい形をたどっていくことで、夜空に隠れている星座を探することができます。

一方、明け方の空には惑星たちが集まり始めています。3月16日には、南東の空の低いところで金星と火星が並んで見えます。この日の金星の明るさはマイナス4.5等と明るく、火星は赤い色をしているため、その特徴から2つの惑星の並びを探してみましょ。また、4月25日から28日にかけては、月が土星、火星、金星、木星と次々に接近するため、よりにぎやかな見ごたえのある空になるでしょう。なお、これから夏に向けてそれらの惑星たちが明け方の空でそれぞれ接近して見えたり、ずらっと並んで見えたりします。日ごとに場所を変える、“惑星”たちの姿をその空でお楽しみください。

